

団体生命共済・追加募集について

追加募集締切日 2024年12月15日

契約発効月 2025年2月

※加入申し込みは、組合(単組)共済担当者まで

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第856号

2024年(令和6年)11月30日

福島市荒町1-21

自治労福島県本部

発行人澤村英行

がんばろう福島



大会には代議員168名、傍聴と執行部を含め、全体で270名が結集し、2日間に渡り議論と交流を深めた。

第115回定期大会

多くの仲間がいわきに結集

活発な議論で2025年度運動方針を確立

自治労福島県本部は、10月11日〜12日の日程で、いわき市「スパリゾートハワイアンズ」で第115回定期大会を開催。「2025年度運動方針(案)」など4件の議案を絶対多数で可決決定した。いわき市での大会は9年ぶり、「スパリゾートハワイアンズ」での開催は16年ぶり。270名超の組合員が参加し、活気ある大会となった。

大会冒頭、澤村英行中
央執行委員長がいさ
つ。2024確定闘争、
政治闘争の推進の2点に
ついて触れ、これら取り
組みの強化と県本部への
結集を訴えた。

また、自治労本部・木
村ひとみ副中央執行委員
長、連合福島、澤田精一
会長のほか、地元開催市
の内田広之いわき市長な
ど多くのご来賓からお祝
いの挨拶を頂いた。

2日にわたる大会で
は、これら報告や議案に
対し、10名の代議員から
補強意見等の発言があつ
た。鈴木茂書記長からの
執行部答弁、澤村委員長
からの総括見解の後、す
べての議案について、可
決・承認された。

各単組発言概要



⇒松下義光代議員
(飯館村職労)

飯館村長選において、
推薦候補・杉岡誠氏が新
人候補に大差をつけ再選
を果たした。期間がない
中の推薦決定となった
が、改めて結果について
報告させていた。



⇒佐々木洋介代議員
(会津若松市職労)

中途採用のため、入庁
時、給料が下がった立場
だが、執行委員になり
「執行部は中途採用者の
賃金改善に本気で取り組
んでいるのか」と訴えた
ところ、書記長から、賃

金改善のための協力を要
請され、現在も執行部を
担っている。
中途採用者の格付けも
組合の取り組みにより以
前よりは改善されたこと
などを聞いた。一方で、
同学年の新卒採用者との
較差は生涯にわたり解消
されないことも知った。
今春闘の団交で、人事
院の通知に基づく改善も
言及があり、現在、労使
間で協議を重ねている。
県本部にも情報共有と
指導をお願いしたい。



⇒折笠有基代議員
(南相馬市職労)

初任給改善を勝ち取っ
たが、改善は若年層にと
どまる。合併後採用の職
員の給与が抑制され、ポ
イント賃金に到達してい
ない。解決に努める。
本市の年間残業時間は
震災前より4倍近く増
加。組合では組合員から
の聴き取りと、スローガ
ン旗を掲げ、ノー残業
デーの声掛けに取り組ん
だ。結果、特定の部署が
恒常的に残業をしている
ことがわかった。今後も
超勤縮減にむけ取り組



⇒島田浩光代議員
(須賀川市職労)

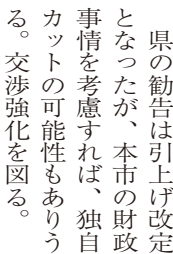
須賀川市長選では推薦
候補の太田正晃氏が、見
事初当選を果たした。
県本部予算案について
郵送料が値上げとなるが
昨年同額でよいのか。経
費の削減やペーパーレス
の観点からも、単組の希
望によってはデータでの

提供としてはどうか。ま
た、同日に複数の封筒が
届くことがあるが、共済
県支部も含め一つの封筒
にできないか。



⇒井上和弥代議員
(福島市職労)

政治闘争は組織の団結
を内外に示し、組織強化
を求める手段としても重
要だ。衆院選もあるが、
来年夏は参院選を迎え
る。しっかりと取り組みた
い。



⇒大内敦夫代議員
(県職連合)

県の勧告は、3年連続
の月例給・一時金ともに
大幅な引上げ。物価高騰
下では不満が残る内容だ
が、県職連合も確定闘争
を全力で取り組む。
ハラスメントの対応を
県当局へ求めた。県の把
握する相談件数は30件超
で、認定されたのは0件
と信じがたい回答。そも
そも、パワハラ認定以前
に、そうした声があがる
ことが問題。改善を粘り
強く求める。

県本部には各単組の交
渉・妥結状況等の情報提
供と引き続きの支援をお
願いたい。



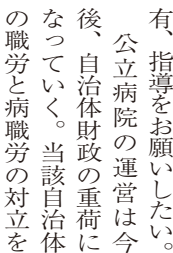
⇒関根佳菜美代議員
(県職連合)

公立岩瀬病院は、厳し
い経営状況。このままで
は手元資金が2年で枯渇
する。全適移行により経
営自立を強いられ、設置
者の自治体は負担を免れ
た。15年間、独自給与
カットが続いている。全
適は働く側にとって警戒
すべき施策。他自治体へ
の波及が危惧される。県
本部には情報の収集・共
有、指導をお願いしたい。



⇒関根佳菜美代議員
(県職連合)

公立病院の運営は今
後、自治体財政の重荷に
なっていく。当該自治体
の職労と病職労の対立を
避けるため、県本部に
は、各単組が一体感を
持つて議論できるよう配
慮願いたい。



⇒関根佳菜美代議員
(県職連合)

当単組も他の単組や県
本部などへの説明を始め
ているが、自治体の裁量
を越えた課題である。自
治労の政治闘争に、改め
て、地域医療の課題を位
置づけて頂きたい。

自治労表彰者	
福島市職労	大塚 友
喜多方市職労	長谷川 智
いわき市職連合	松本 岸
いわき市職連合	山 波
いわき市職連合	菅 知
福島県職連合	和

第19年次地方自治研究レポート表彰

優秀賞 第3専門部会

「復興におけるまちづくりにかかわる
職員の現状について」
～震災・原発事故～

県本部第35回機関紙コンクール審査結果

賞	単組名	機関紙名
最優秀賞	伊達市職労	伊達 結
優秀賞	須賀川市職労	速報「若い丘」
優秀賞	浅川町職員組合	蓄(つぼみ)
佳作	二本松市職労	ハーモニー
佳作	女性支部	
佳作	いわき市職連合	す る め
佳作	青年部	
佳作	会津総支部	あ い づ
努力賞	伊達市職労	こ ぶ し
努力賞	女性支部	
努力賞	桑折町職労	自治労ニュース
努力賞	いわき市職連合	自治労いわき
努力賞	大熊町職労	自治労おおくま

